就労継続支援B型を探している方・ご家族へ

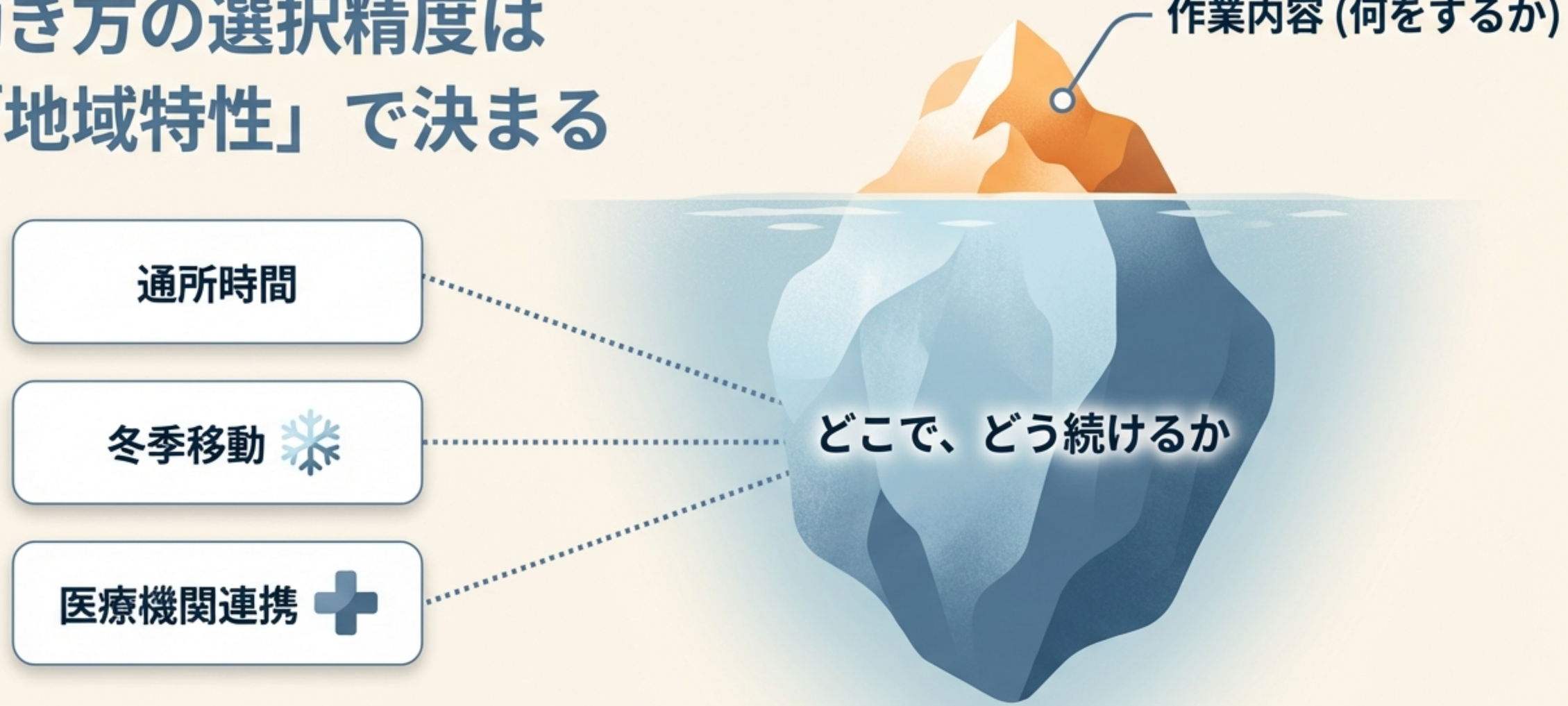
青森・八戸・十和田で「長く続けられる」働き方を見つける

地域資源を活かし、無理なく通い続けられる事業所選びのヒント



NotebookLM

働き方の選択精度は「地域特性」で決まる



自分の希望だけでなく、地域の移動環境・産業特性・支援ネットワークを踏まえて選ぶと、
継続しやすい働き方が見つかります。

NotebookLM

エリアごとに異なる「就労資源」の強み



【青森広域】
IT系や事務系の訓練機会に特色。



【八戸エリア】
商業・物流関連の作業機会が豊富。



【十和田エリア】
農業・屋外作業（農福連携）との親和性が高い。

「何ができるか」だけでなく「どこで続けやすいか」を考えることが重要です。

NotebookLM

見落としがちな「地域特有のハードル」



通所時間のリスク

作業が合っていても、毎日の移動負担が蓄積すると欠席につながります。



冬季の移動環境

雪や凍結による導線の変化。冬の通所が現実的かどうかが最大の鍵です。



医療・支援の距離

体調の揺れが起きた際、すぐに医療機関や相談支援と連携できる距離にいるか。

これらを先に確認することで、開始後の負担を大幅に減らせます。

NotebookLM

長く働き続けるための「3つの柱」



NotebookLM

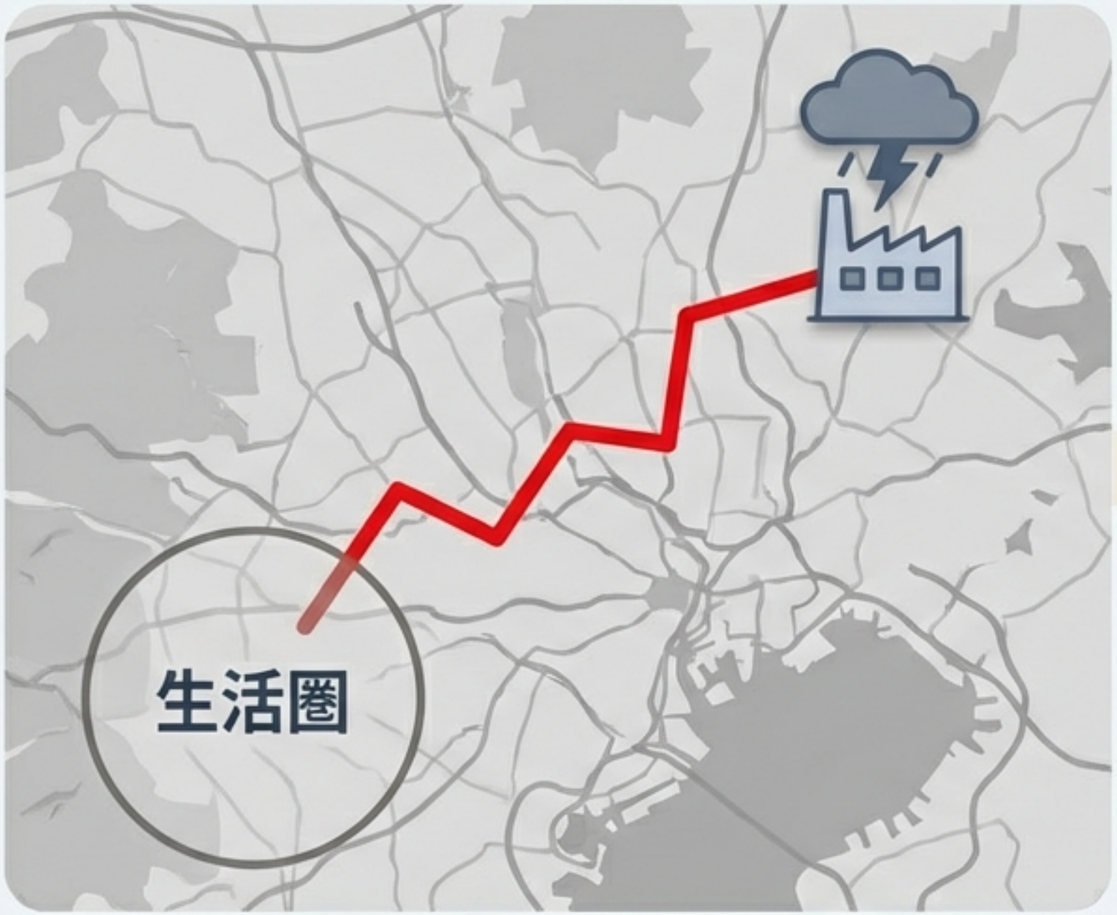
ひとりで抱え込まない「地域連携ネットワーク」



地域機関をつなげることで、単独では解決しにくい課題にも対応しやすくなります。

NotebookLM

【事例】地域条件の見直しで通所が安定



【悩み】作業内容は合っていたが、
移動負担が大きく欠席が増加。



【変化】生活圏内で連携しやすい事業所へ調整。

【結果】通所継続率が大幅に改善し、
毎日の作業参加が安定しました。

NotebookLM

今の「負担」を見つけるセルフチェック

以下の項目で気になるものはありますか？

- [ ] 地域で通いやすい事業所を探したい
- [ ] 毎日の移動負担を減らしたい
- [ ] 医療機関や地域連携をもっと活用したい
- [ ] とにかく長く続く働き方を選びたい

当てはまった項目は、働き方を調整するための大切な「サイン」です。1つでも見つかれば、次の行動が明確になります。



NotebookLM

アイデンドの「地域特化型アプローチ」



アイデンド

アイデンド（就労継続支援B型）では、地域条件を踏まえた支援設計を行っています。

【地域特性を反映した就労計画】

青森・八戸・十和田それぞれの地域資源をつなぎ、本人に合う働き方を一緒に考えます。

【関係機関との連携を前提とした伴走】

利用開始の時期は、不安や体調の揺れを毎回共有し、次回の通所・生活調整に即座に反映します。

NotebookLM

支援員からのメッセージ



「地域で働き続けるには、
本人の努力だけでなく
『地域資源の使い方が鍵』です。
生活圏と連携先を含めた設計を、
一緒に組み立てていきましょう。」



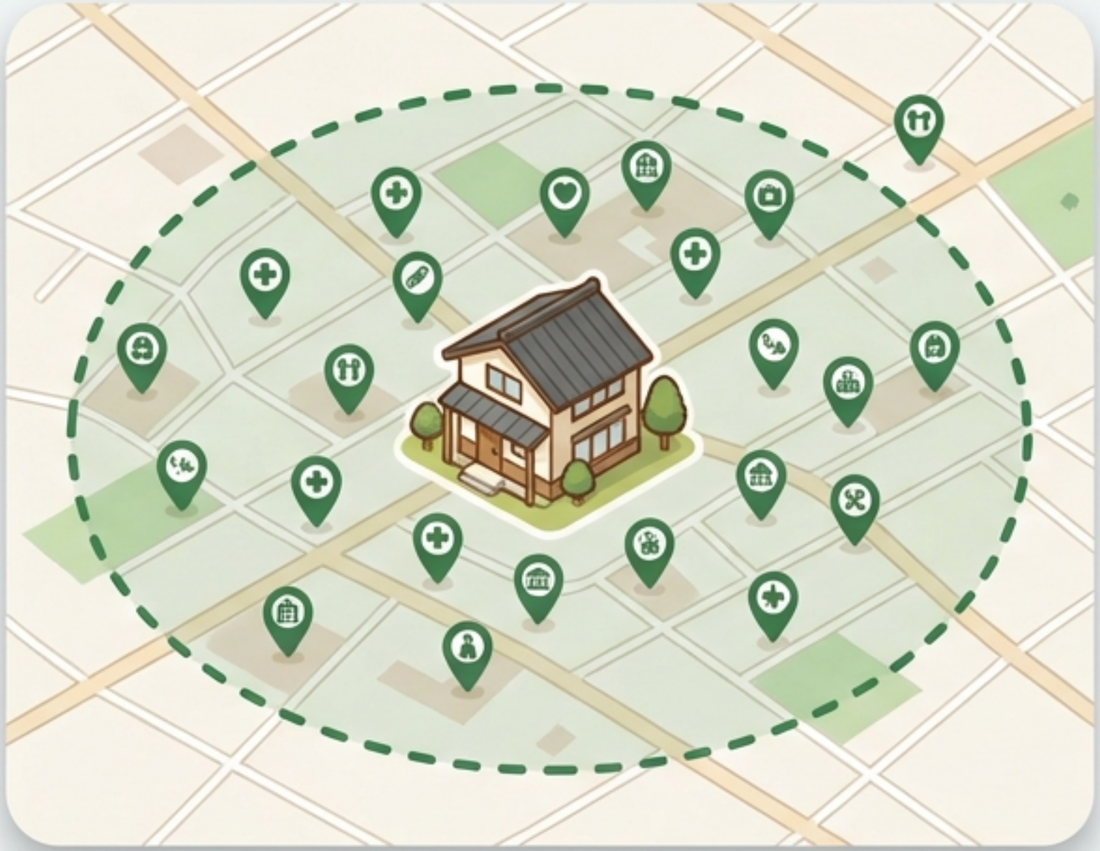
【私たちの約束】

不安な気持ちに寄り添い、決して一人にさせないサポートをお約束します。

NotebookLM

実践メモ：最初の3日間（生活圏の確認）

Step 1



【Day 1〜3の目標】
地図の上で生活導線を確認する。

【アクション】
- 自宅から無理なく通える範囲を地図上でマーキングする。
- 利用中の医療機関や相談窓口の位置をマッピングする。

Point: 情報を集めるほど、自分に合った働き方は具体的になります。まずは「物理的な距離」の把握から。

NotebookLM

実践メモ：4日目〜14日目（比較と共有）

Day 4〜7

【条件の比較表づくり】

- 冬季移動の想定（雪の日のルート）
- 送迎の有無
- 連携機関との距離

Day 8〜14

【見学と家族への共有】

- 候補を絞り、実際に事業所を見学する。
- 見学結果を家族や支援者と共有し、「続けやすさ」を基準に最終確認する。

NotebookLM

失敗しないための「見学時チェックマトリクス」

見学時に確認・メモすべき3つの軸：

[通いやすさ]

- 所要時間
- 移動手段（バス・車等）
- 季節影響（冬の運用）

[地域資源]

- 実際の1日の作業内容
- 医療や他機関との連携実績

[最終判断の軸]

自分が最も優先したいこと（例：休んだ時のフォロー体制など）

“できる仕事”だけでなく
“続けられる地域条件”
まで見ることが
成功の鍵です。

NotebookLM

よくある不安にお答えします（FAQ）

Q. 地域によって作業内容は大きく違いますか？

A. はい。地域の産業で作業構成が変わるため、
見学時に「1日の流れ」を確認するのがおすすめです。

Q. 冬季の通所が不安です…。

A. 送迎・時間調整・代替手段の確認が重要です。
見学時に「雪の日の運用」を事前に聞いておくと安心です。

Q. 地域外の事業所も検討すべきですか？

A. 検討は可能ですが「継続性」を最優先に。
通所時間と生活導線を含めて比較、無理のない選択をしてください。

NotebookLM


完璧さより「戻ってこられる仕組み」を
青森/八戸/千和田地域
1. 地域の作業資源を理解する
2. 移動と生活圏を重視する
3. 連携機関を活用する
体調が揺れても、雪が降っても、「また通い始められる」
環境をつくることが継続の力になります。
アイデンドへのご相談・見学予約はこちら
検索：アイデンド 就労支援
017-000-0000
NotebookLM